

7月15日：大型株の上昇によってベトナム株は反発

ベトナム株は水曜日に反発した。世界の株式市場の上昇と大型株への資金流入が相場を上昇させた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.21%高の869.91ポイントで取引を終えた。

火曜日には0.07%安の868.11ポイントで取引を終えていた。

出来高は2億5830万株で売買代金して4.5兆ドンであった。

223銘柄の上昇に対して156銘柄が下落した。

VN30指数では、水曜日に0.59%高となり810.16ポイントで取引を終えた。

上昇したのは、BIDV銀行(BID)、バオベトホールディングス(BVH)、ベティンバンク(CTG)、FPTコーポレーション(FPT)、HDバンク(HDB)、ホアファットグループ(HPG)、軍隊商業銀行(MBB)、モバイルワールドインベストメント(MWG)、ノブランド不動産(NVL)、テクコムバンク(TCB)、ベトコムバンク(VCB)、ビンホームズ(VHM)、VPバンク(VPB)、ビナミルク(VNM)、ビンコムリテール(VRE)などであった。

不動産、建設セクターは注目を集めた。コテコンズ建設(CTD)、ホアビン建設(HBC)、ハドグループ(HDG)、カンディエンハウス(KDH)、ファットダット不動産(PDR)などに資金が流入した。

工業用不動産も上昇、ナムタンウエン(NTC)、ソナデジロンタイン(SZL)、ソナデジチャウドゥック(SZC)なども上昇した。

水曜日に世界の株式市場が上昇したこともベトナム株に好影響を与えた。

米国株式市場は火曜日に上昇し、3つの主要指数がすべて上昇していた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.2%安の115.91ポイントで取引を終えた。

出来高は3350万株で売買代金にして3620億ドンであった。

外国人投資家はホーチミンでは1103億ドンの売り越し、ハノイでも37億ドンの売り越しだった。

BIDV証券によると、7月物の先物が木曜日に満期を迎え、OPEC会合が水曜日に終了するため、今週の残り2日は乱高下が予想されるとのことだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。